

政策シート 政策名 04 市民主体のまちづくりを支える広聴広報の好循環

予算費目名 01 広聴広報費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 07 地方自治・都市経営

理想の姿 (30年後) ◆協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。

政策の柱 (10年後) ◆協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。
◆公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

基本政策 01 市民と共に未来をつかむ都市経営

(2) 政策の概要(当年度(2022年度)実施内容)

市民との情報の共有化を進め、市民から理解と共感が得られる市政を実現する。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑩不平等	⑯平和								
------	-----	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	210,379	259,744	203,430	201,953		
決算	197,420	243,503	188,478			
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	147,000	149,800	141,400	138,600		
年間経費(予算又は決算+A+B)	344,420	393,303	329,878	340,553		

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
必要な行政情報が提供されている(満足度)	%	目標	32	32	34	36	38	40
		実績	26.8	28.7	28.8			
		目標						
		実績						

4 前年度(2021年度)政策評価

(1) 前年度(2021年度)実施内容

市民との情報の共有化を進め、市民から理解と共感が得られる市政を実現する。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

市政情報を必要とする市民に対し、必要なときに必要な形で分かりやすく伝えていくことが重要であることから、さまざまな媒体を活用した情報発信をしている。2021(令和3)年度は、必要な行政情報が提供されていると感じる満足度が前年とほぼ同じ結果となったので、引き続き、さまざまな媒体を活用し、ターゲットに応じた情報発信及び媒体の認知度向上に努める。

また、オープンデータの提供データ数は、昨年度に引き続き目標値を上回った。今後も地域課題の解決や地域の魅力向上を図るための手段として、オープンデータの推進を図っていく。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	市政広報事業	—	○	○		247,841	176,021	8.3			4.9	
2	オープンデータプラットフォーム運用事業	○	○	○		12,820	10,440	0.3			0.1	
3	広聴事業	—	○	○		66,147	5,247	5.9			7.0	
4	広聴広報デジタル運営経費	—	—	—		8,279	8,279					
5	広聴広報運営経費(一般諸経費のみ)	—	—	—		5,466	1,966	0.5				
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						340,553	201,953	15.0			12.0	

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 市政広報事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市が取り組む施策や行政サービスを市民に正しく分かりやすく伝え、市民の市政に対する理解・協力・参画を得るとともに、市民協働を促進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1952	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	○	(戦略項目)	214						

(4) 関連するSDGsのゴール

									⑩不平等
									⑩平和
事業とゴールの 関連性	<ul style="list-style-type: none"> ・市が発信する情報は、国籍や年齢、障害の有無などに関係なく、誰も平等に見たり聞いたりすることができるものでなければならない。 ・また、発信した情報について、常に説明責任を果たすことができる組織でなければならない。 								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	202,585	184,960	161,786	176,021		
	決算	191,007	172,016	153,616			
	国・県支出	3,139	2,439	2,725	2,617		
	市債						
	その他	187	165	113	183		
	一般財源	187,681	169,441	150,778	173,221		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	74,200	72,240	71,820	71,820		
人工	正規	8.6	8.0	8.3	8.3		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	5.0	5.8	4.9	4.9		
年間経費(予算又は決算+A+B)		265,207	244,256	225,436	247,841		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
必要な行政情報が提供されている (満足度)(%)			目標	32	32	34	36	38	40
			実績	26.8	28.7	28.8			
オープンデータ提供件数(件)		214	目標	260	270	280	300	310	320
			実績	261	281	297			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・市の施策、制度及びお知らせなどの情報を市民に提供するため、広報はままつ、広報はままつ点字版・音声版、広報はままつ外国語版(ポルトガル語、英語)を毎月発行した。また、やさしい日本語版のホームページ上での公開を開始した。
 - ・広報はままつ専用アプリ及びウェブページを開設し、スマートフォンなどへの配信サービスを開始した。
 - ・部局への広報支援として、希望する事業担当課にプロのデザイナーを派遣し、ポスター、チラシ、パンフレットなどのデザイン面や広報ツールについてのアドバイスを実施した(広報デザイナーコンサルティング事業)。
 - ・テレビ、ラジオ等のマスメディアを活用し、市政情報を正確、迅速かつ広範囲に伝達する。
 - ・市公式ホームページを、全庁的な共通ルールに基づき管理運用していく。また、市公式ホームページの中で「市長の部屋」「動画チャンネル」を公開するほか、フェイスブックやツイッター、LINEなどSNSを活用した情報発信を推進する。
- 【2019-2022重点戦略項目 No.214】
- ・オープンデータを拡充し、民間の知恵と技術を活用することによる市民サービスの向上、行政の透明化、さらに新たなサービスやビジネスの創出を図る。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・必要な行政情報が提供されている(満足度)については28.8%の結果となり、前年度とほぼ同じ結果となった。情報発信における多様な媒体の活用やその認知度の向上が課題となる。
- ・オープンデータの提供数は297データとなり、目標値を上回った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・必要な行政情報を世帯だけでなく個人にも届けるため、広報はままつ専用アプリ及びウェブページを開設した。
- ・広報はままつに掲載するお知らせ情報については、QRコードと検索キーワードの掲載を必須化し、ホームページへの誘導を強化した。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・ラジオの放送回数を削減し、重要施策については施策の内容や対象に応じて媒体を選択し、タイムリーに広報するため、より柔軟性の高い事業へ見直しをする。
- ・市を総合的に紹介する市勢要覧の発行を取り止める。
- ・広報はままつ専用ウェブサイト(URL to機能を追加し、利便性を向上させる。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・市の施策、制度及びお知らせなどの情報を市民に提供するため、広報はままつ、広報はままつ点字版・音声版、広報はままつ外国語版(ポルトガル語、英語)を毎月発行する。
 - ・より多くの外国人市民へ情報を提供するため、広報はままつの一部をやさしい日本語で表記した紙面データをホームページで公開する。
 - ・市政情報を個人に届けるため、広報はままつ専用アプリとウェブサイトによる配信サービスを実施する。
 - ・部局への広報支援として、事業担当課が制作するポスター、チラシ、パンフレットなどのデザインや広報ツールについて、プロのデザイナーによるアドバイスを実施する(広報デザイナーコンサルティング事業)。
 - ・市の魅力を高校生、大学生など若年層市民に発信してシビックプライドの醸成を図ることを目的に、市の魅力・価値を効果的に伝える事業を展開する。
 - ・テレビ、ラジオ等のマスメディアを活用し、市政情報を正確、迅速かつ広範囲に伝達する。
 - ・市公式ホームページを、全庁的な共通ルールに基づき管理運用する。また、市公式ホームページの中で「市長の部屋」「動画チャンネル」の公開、フェイスブックやツイッター、LINEなどのSNSを活用した情報発信を推進するほか、インターネット広告、テレビ番組の広告協賛による市政情報の発信に取り組む。
- 【2019-2022重点戦略項目 No.214】
- ・オープンデータを拡充し、民間の知恵と技術を活用することによる市民サービスの向上、行政の透明化、さらに新たなサービスやビジネスの創出を図る。

事業シート (事業名) 02 オープンデータプラットフォーム運用事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民が日常利用する多様なデジタルデバイスやツールに対応したサービス提供の充実を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2020	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-5(1)ア						
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	214						

(4) 関連するSDGsのゴール

									⑩不平等
									⑩平和
事業とゴールの関連性	<ul style="list-style-type: none"> ・市が発信する情報は、国籍や年齢、障害の有無などに関係なく、誰も平等に見たり聞いたりすることができるものでなければならない。 ・また、発信した情報について、常に説明責任を果たすことができる組織でなければならない。 								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算		60,912	12,208	10,440		
	決算		60,690	12,129			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金		60,690	12,129	10,440		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)			4,760	2,380	2,380		
人工	正規		0.6	0.3	0.3		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.2	0.1	0.1		
年間経費(予算又は決算+A+B)			65,450	14,509	12,820		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
オープンデータ提供件数(件)		214	目標	260	270	280	300	310	320
			実績	261	281	297			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・オープンデータプラットフォームの本稼働を始めた。
- ・市公式LINE「しゃんべえ情報局」において、セグメント配信を開始するとともに防災メニューを追加した。
- ・市独自のオープンデータカタログを開設し、静岡県の「ふじのくにオープンデータカタログ」とのデータ連携を行った。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・オープンデータプラットフォームの本稼働を始め、LINEのセグメント配信を開始するとともに、メニューの追加を行った。
- ・市独自のオープンデータカタログを開設し、静岡県のオープンデータカタログとのデータ連携を開始した。
- ・オープンデータの提供数は297データとなり、目標値を上回った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

市民が日常利用するデジタルデバイスやツールが多様化している。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・SNS、ホームページなど市民が日常利用する、さまざまな媒体の変化に対応し、多様な住民サービスを提供するオープンデータプラットフォームの本格稼働を始めた。
- ・LINEのセグメント配信を開始するとともに、メニューの追加を行うなどサービス提供の充実を図った。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・市民が日常利用する媒体で、必要とする情報を受け取れるように、オープンデータプラットフォームを活用して、土木スマホ通報システム「いっちゃお」と連携するなど、更なるサービス提供の充実を図る。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・SNS、ホームページなど市民が日常利用する、さまざまな媒体の変化に対応し、多様な住民サービスを提供するためオープンデータプラットフォームを運用する。

【2019-2022重点戦略項目No.214】

オープンデータ化した「統一データベース」から市公式ホームページの作成のほか、民間事業者が提供するAIスピーカーやチャットボット等のサービスに接続可能なプラットフォームを構築し、サービス提供を開始する。

事業シート (事業名) 03 広聴事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民の参画と協働によるまちづくりを進めるため、広く市民の声を聴くとともに、市政運営の参考とする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1963	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	○	(戦略項目)	96						

(4) 関連するSDGsのゴール

									⑩平和
事業とゴールの関連性	・広聴事業を通し、広く市民の声を聴き、市民ニーズを市政に反映させることで、透明性の高い行政運営につなげる。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	5,855	11,656	11,248	5,247		
	決算	4,760	9,519	10,541			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	4,760	9,519	10,541	5,247		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		68,740	68,740	63,140	60,900		
人工	正規	5.9	5.9	5.9	5.9		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	9.8	9.8	7.8	7.0		
年間経費(予算又は決算+A+B)		73,500	78,259	73,681	66,147		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
広聴集会の参加者アンケートによる満足度(%)			目標	95	95	95	95	95	95
			実績	94.9	91.7	93.3			
市民コールセンターの一次対応率(%)			目標	100	100	100	100	100	100
			実績	99.7	99.8	99.8			
講演会実施高校数(校)		96	目標	15	13	13	13	13	13
			実績	8	6	10			
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

- ・市民からのメールや投書によるご意見、ご要望等を常時受け付ける。寄せられた意見、要望などは「市民の声システム」にて一元管理し、全庁的な情報の共有化を図る。
- ・広聴集会「浜松まちづくりミーティング」「チャット！ やらまいか」を開催し、市長との対話形式による意見交換を行い、市民ニーズを施策に反映させていく。また「浜松市政を語る会」を開催し、市民に市政報告を行う。
- ・若い世代の声や斬新なアイデアを聴き、これからの市政の参考とするため「はままつ未来議会」を開催する。
- ・市民の市政への参画機会の拡充を図るため、市の条例や計画などを策定する際、案の段階から市民に公表し、市民からのご意見、ご要望などを伺いながら最終案を策定していくパブリック・コメント制度の運用を行う。
- ・調査広聴として、市政への意見、要望、満足度や社会情勢の変化に伴う市民意識を調査する市民アンケート調査及び広聴モニターアンケート調査を行う。
- ・市民からの電話による問合せに答えたり、所管する担当課を的確に案内する「市民コールセンター」を運用する。
- ・【2019-2022重点戦略項目No.96】若者が進学等のために本市を離れても再び浜松へ戻ってきてもらえるよう、市長自らが「浜松の良さ」や「浜松の誇り」を直接高校生に伝える「いい街☆はままつ授業」を開催する。



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・広聴集会として「浜松まちづくりミーティング」「チャット！ やらまいか」(市長出席)を計3回開催、「浜松市政を語る会」を市内4カ所で開催、「はままつ未来議会」の事前学習会及び全体会を開催。参加者の満足度(93.3%)は前年より増加したが目標値(95%)を下回った。
- ・市民コールセンターの一次対応率(99.8%)は、目標値(100%)を若干下回った。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響等により、「いい街☆はままつ授業」は10校での開催となった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症対策等を考慮して、広聴集会や高校講演会の開催形態の検討が必要である。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・高校講演会の開催について、新型コロナウイルス感染症対策等を考慮し、できるだけ集合形式ではなく、学校の放送室等から各教室へ映像を配信する等の校内オンラインを利用した形式として対応してくれるよう、高校側と調整を行った。

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・現行の「市民の声システム」の更新時期に合わせ、より効率的な業務手順へ見直しする。



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

- ・市民からのメールや投書によるご意見、ご要望等を常時受け付ける。寄せられた意見、要望などは「市民の声システム」にて一元管理し、全庁的な情報の共有化を図る。
- ・広聴集会「浜松まちづくりミーティング」「チャット！ やらまいか」を開催し、市長との対話形式による意見交換を行い、市民ニーズを施策に反映させていく。また「浜松市政を語る会」を開催し、市民に市政報告を行う。
- ・若い世代の声や斬新なアイデアを聴き、これからの市政の参考とするため「はままつ未来議会」を開催する。
- ・市民の市政への参画機会の拡充を図るため、市の条例や計画などを策定する際、案の段階から市民に公表し、市民からのご意見、ご要望などを伺いながら最終案を策定していくパブリック・コメント制度の運用を行う。
- ・広聴事業として、市政の課題や市民生活に関係の深い内容について、市民ニーズを把握するため、広聴モニターアンケート調査を実施する。
- ・調査広聴として、市政への意見、要望、満足度や社会情勢の変化に伴う市民意識を調査する市民アンケート調査を行う。
- ・市民からの電話による問合せに答えたり、所管する担当課を的確に案内する「市民コールセンター」を運用する。
- ・【2019-2022重点戦略項目No.96】若者が進学等のために本市を離れても再び浜松へ戻ってきてもらえるよう、市長自らが「浜松の良さ」や「浜松の誇り」を直接高校生に伝える「いい街☆はままつ授業」を開催する。

事業シート (事業名) 04 広聴広報デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

広聴広報課のデジタル関連事業に要する経費を執行する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	—	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			10,810	8,279		
	決算			10,716			
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金			10,716	8,279		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				10,716	8,279		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

2022年度

分野

基本政策

政策

予算費目

所属コード

事業

(担当課)

(責任者)

(基準日)

07

01

04

01

000419000

04

広聴広報課

鈴木 久仁厚

2022.7.1

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)

--



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

--



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

--



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)

--

事業シート (事業名) 05 広聴広報運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

--

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,939	2,216	7,378	1,966		
	決算	1,653	1,278	1,476			
	国・県支出			205			
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	1,653	1,278	1,271	1,966		
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,060	4,060	4,060	3,500		
人工	正規	0.5	0.5	0.5	0.5		
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.2	0.2	0.2			
年間経費(予算又は決算+A+B)		5,713	5,338	5,536	5,466		

3 事業の指標の状況(2022:重点戦略最終年度、2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
				(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(2021年度)事業実施内容 (Do)



5 前年度(2021年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題
指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2021年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2022年度)以降見直し内容(今後の方向性)
大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(2022年度)事業実施内容(Plan)